

# シルバー 安全だより

第22号

平成14年1月1日

(社)日向市シルバー人材センター

安全管理委員会

～～初心にかえれ「安全はすべてに優先する」～～



安全管理委員長  
井上 繁

明けましておめでとうございます。2001年は少しづつベテランと新人参加の年ではなかったろうかとおもいます。今年間傷害事故3件、物損事故2件と最低だったのが、平成13年は傷害事故7件、物損事故2件と傷害事故が倍増しています。重篤事故に至っていませんが、背中合わせの危険度は充分にあります。初心にかえり「安全はすべてに優先する」を座右の銘として、悲しい事故の防止に万全を期しましょう。

2001年は希望に満ちた年と期待しましたが好転の兆しも、去る9月13日米国多発テロでアフガニスタンテロとの全面戦争に突入、一瞬にして数千名以上の尊い生命が失われる瞬間をテレビの放映を観て、テロに対する憤りを痛感しました。永遠の平和を願う日本、自衛隊の海外派遣等一日も早いアフガンの平和国家の誕生を願い、世界が人類が平和で楽しい地球でありたい。先づは健康、地域の和、仲間の和を大切に2002年こそ輝ける年でありたいものです。

全員の皆様の御健斗と御発展を祈念いたしますと共に、事故0を目指しましょう。「乾杯」!!

～～新年おめでとうございます～～



県シ連安全適正就業  
パトロール指導委員  
森山 悟

シルバー人材センターの就業中の災害事故が増えている事から、国の方針で各県シルバー連合会に事故防止の為、安全適正就業パトロール指導員を配置する事になり、私が昨年5月1日付で任命され8ヶ月が経過しました。この間、宮崎県下を初め皆様方の作業現場にも何回か訪問させて頂きました。日向市シルバー人材センターの場合、安全適正就業体制の取組みは、非常に進んでおり特に問題となるような点はありませんでした。

しかし、事故は予期しない時に想像もしない内容で発生する事があります。不測の事故が発生する原因は大きく分けて次の3点が考えられます。

- ①本人の年齢、体調、精神状態に起因するもの。
- ②決められた安全就業基準を守らず発生するもの。
- ③天災、地変、交通事故等不可抗力なもの。

統計上、上記①と②での事故が全体の過半数を超えています。シルバー人材センターの理念は、地域社会に貢献する為に、自主・自立・共働・共助・共楽の精神で生きがいを持って余生を送る手助けをし団体を結成しています。会社みたいに雇用契約、労働協約は一切ありません。

事故防止の為には、第1に自分の年齢、体調、精神状態を考え無理せず明るく楽しく就業することです。『過ぎたるは及ばざるがごとし』とならないように致しましょう。第2に、定められた安全就業基準を良く読み、それを完全に守って就業致しましょう。第3に、事故は自己の責任である、と言われるように、残されたわずかな人生を有意義に過ごす為、1人1人が事故は絶対に起こさない、という意識改革を致しましょう。

以上、私の考えの一端を申し述べましたが、今年は暗い世相の始まりですが、明るく楽しくなるよう皆様方の御健勝を祈念致します。

訃報

かねて、病氣療養中でありました 矢北正美委員が去る10月27日に ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

安全管理委員会一同

# 安全就業活動に対する評価



事務局長  
出口幸男

安全活動とは、事故を防ぐため進めるものですから、結果的に事故が減らないようでは安全活動に対する評価は当然低くなります。事故が減らないということは、対策が実情にあっていないか、あるいは空回りに終わったかのいずれかであると思われます。そのいずれかを解明し、計画の見直し、計画の実施方法について改善を図ることが大切です。安全管理の行き届いたセンターと言われる当センターも、ここにきて事故発生が目立ちます。また、パトロールでも当然守るべき安全対策がとられていないのが見受けられます。

評価は、あくまでもそれを通じて出された問題点を次の新しい安全就業計画に組み込んで解決し、安全就業の一層の向上を図るために行うものであって、評価のための評価に終わらないよう努めていただきますようお願いいたします。

## 安全パトロール12/4 秋季実施する



今回の安全パトロールで思いましたが、ある現場では安全就業の認識が少し低下したようにも思われました。

夏の仕事も大変ですが、冬は冬なりに寒いので体が固くなりますので、作業を始める前には簡単な準備体操をし、体をほぐすと良いと思います。

放送大学での高い所の剪定は、大変な仕事ですから、安全に対する意識が大切かと思えます。また道路沿いの草刈り作業も交通量の多い所での作業ですから、危険が隣り合わせの作業です。特に物損事故等起こさないよう注意して作業するようお願いいたします。

又、就業途上地域内の移動の交通事故にも注意して「安全就業の意識」を高めて事故ゼロを目指して明るいシルバー人材センターを作りましょう。

高齢者の幸せは健康が第一です。怪我や病気死亡は家族の最大の不幸です。不幸をなくし明るい家庭を作りましょう。

『安全はすべてに優先しましょう』



黒木 重美委員

### 【チェックポイント】

- ①歩道には作業車・道具類を置かないこと。
- ②脚立の最上段に乗って作業しないこと。
- ③三脚梯子の開き止めをすること。
- ④道具類の整理整頓を常にすること。

12/1現在、傷害事故7件、物損事故2件と事故件数が増えています。共働・共助に基づき、相互確認に努め事故0を目指しがんばっていきましょう。

藤田 辰巳副委員長

**健康 思いやり 笑顔** を忘れずに

柳田 悦子委員

今年は傷害事故が多くなってきた様です。体力、気力の衰えはどうすることもできません。足元がふらつき、転倒したり瞬発力が鈍ってきたからです。屋外屋内共に、身の廻りに危険なものはないか注意して仕事に取りかかること「慣れ」という事が事故のもとです。常に「健康、思いやり、笑顔」を忘れずに！

※安全標語・川柳の入選作品は「シルバー日向岬」22号12ページに記載してあります。